

プリントネット株式会社 2021年8月期第2四半期 決算補足説明資料

証券コード:7805



2021年6月14日

1 2021年8月期第2四半期 決算概要

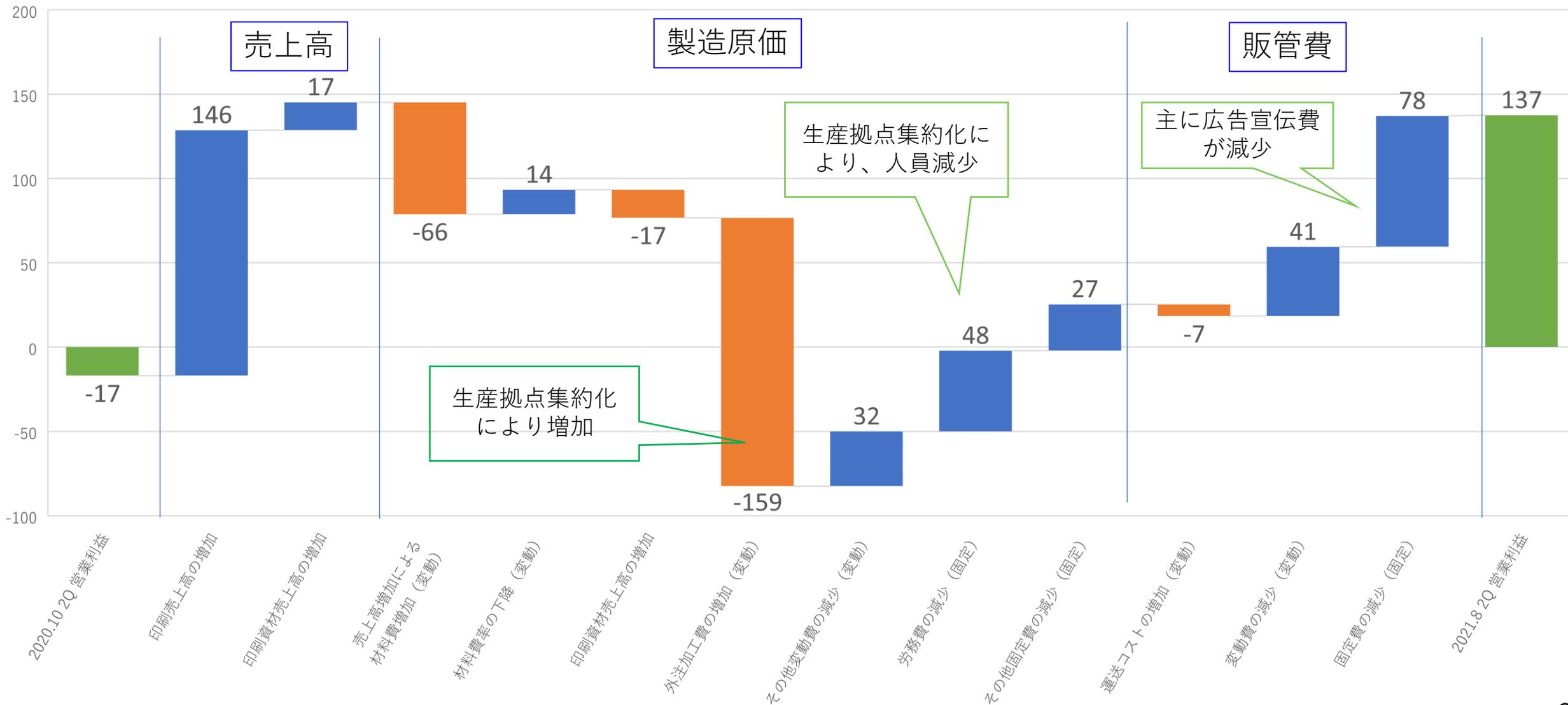
（単位：百万円、％）

	2021年8月期第2四半期			主な増減要因
	実績	前年実績	増減率	
売上高	4,473	4,311	+3.8	パートナー企業以外売上 2,565百万円（対前年同期比△1.4％） パートナー企業売上 1,857百万円（対前年同期比+10.8％）
売上原価	3,534	3,415	+3.4	
売上総利益	939	895	+4.8	
販売費及び一般管理費	801	913	△12.3	主に広告宣伝費が減少
営業利益	137	△17	—	
経常利益	116	△11	—	
四半期純利益	68	△40	—	

2020年10月期第2四半期決算と2021年8月期第2四半期決算の営業利益の差について

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

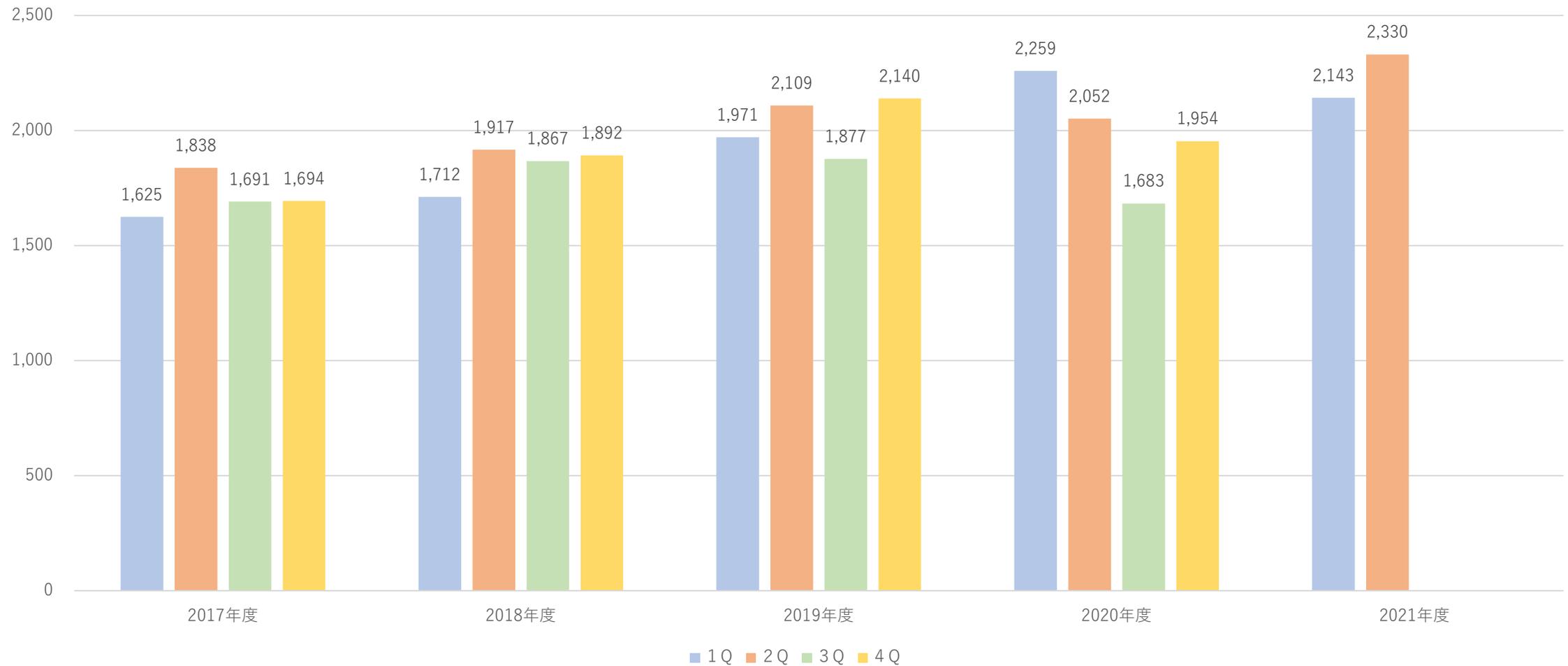
(単位:百万円)



各四半期ごとの売上高推移

四半期としては過去最高の売上高を計上。

(単位:百万円)



※ 2017年10月期決算、2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

各四半期ごとの売上高推移

パートナー、パートナー以外とも前年対比売上高増加。

(単位:百万円)

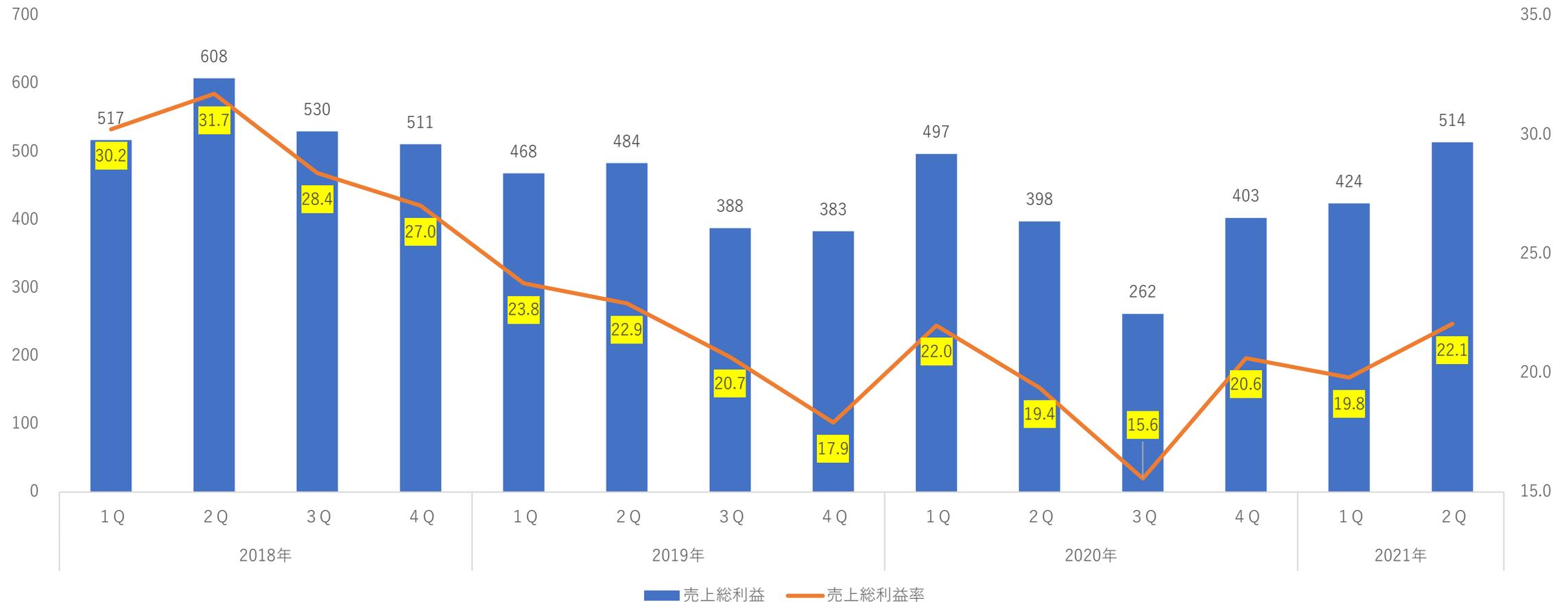
		2020年 10月期	2021年 8月期	前年比	前年差
第1四半期	パートナー	881	927	105.2%	+45
	パートナー以外	1,362	1,200	88.1%	△162
	総計	2,244	2,127	94.8%	△117
第2四半期	パートナー	794	930	117.1%	+136
	パートナー以外	1,239	1,366	110.2%	+127
	総計	2,033	2,296	112.9%	+263

各四半期ごとの売上総利益、売上総利益率 推移

前年第2四半期会計期間と比べ売上総利益が増加、売上総利益率は改善。

(単位:百万円)

(単位:%)

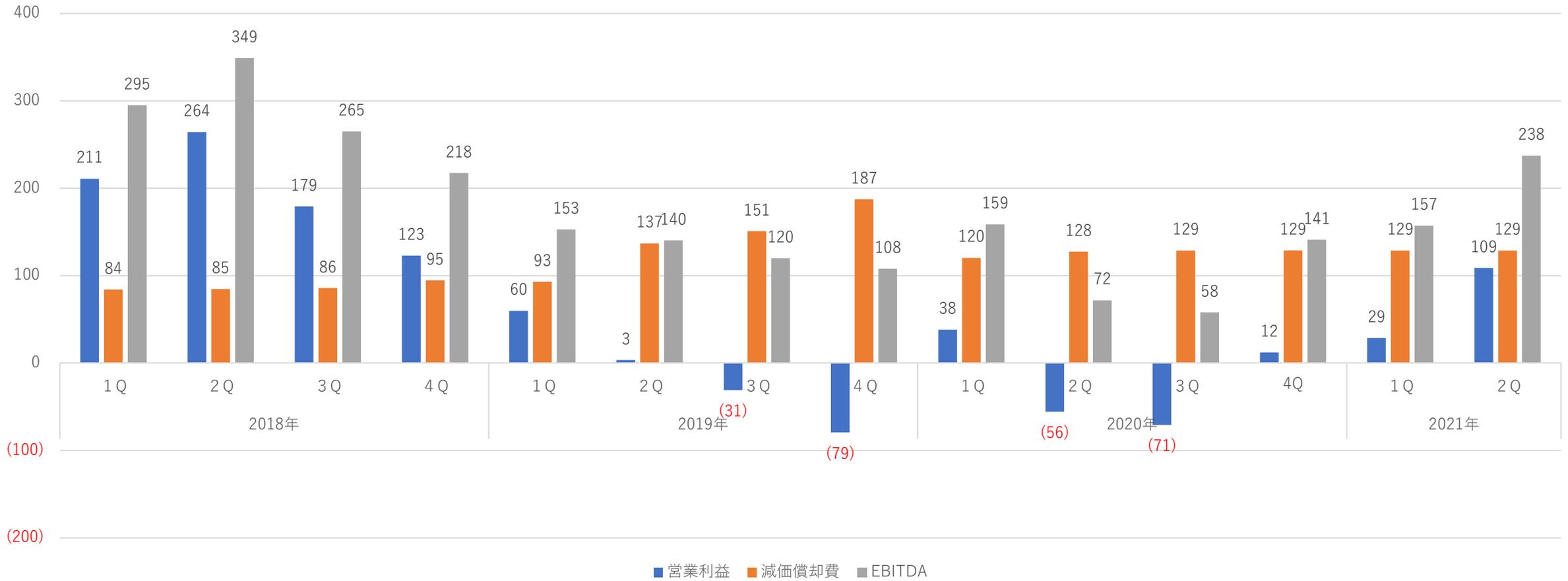


※ 2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

各四半期ごとのEBITDA推移

前年第2四半期会計期間と比べ営業利益が大幅増加したことに伴い増加。

(単位:百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※ 2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

2

2021年8月期業績予想について

2021年8月期業績予想について

2021年8月期は、決算期の変更を行ったことにより、10ヶ月を対象とした変則決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

(単位:百万円)

	2021年8月期 通期予想	増減率
売上高	6,885	—
営業利益	17	—
経常利益	△19	—
当期利益	27	—
1株当たり 当期純利益	5円23銭	—

※ コロナウイルス感染症の影響が不明であることから、従来予想からの変更はございません。

2 2021年8月期 期末配当 株主優待について

2021年8月期期末配当、株主優待について

2021年8月末より期末配当を実施いたします。

2021年8月末に株式を保有いただいている方に1株10円00銭の配当を見込んでおります。

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回発表予想	—		—	0.00円	0.00円
今回修正予想	—		—	10.00円	10.00円
当期実績	—	0.00円	—		
(ご参考) 前期実績 (2020年10月期)	—	0.00円	—	0.00円	0.00円

2021年8月期期末配当、株主優待について

2021年8月期の株主優待制度の内容を一部変更いたします。
新たに1,000株以上を保有いただいている株主の皆様は、株主優待の拡充を行います。

	変更前	変更後
100株以上	当社サービス利用ポイント 2,000円相当分	当社サービス利用ポイント 2000円相当分
200株以上	当社サービス利用ポイント 4,000円相当分	当社サービス利用ポイント 4,000円相当分
500株以上	当社サービス利用ポイント 6,000円相当分	当社サービス利用ポイント 6,000円相当分
1,000株以上	—	当社サービス利用ポイント 6,000円相当分 + 鹿児島県名産品

※ 2021年8月期の鹿児島県名産品は、黒豚しゃぶしゃぶ肉の予定です。



3 Q & A

Q & A

<p>Q1 新型コロナウイルス感染症の影響を下期どのように見込んでいるか？</p>	<p>A1 上期は前年比3.8%増の4,473百万円の売上となりました。</p> <p>下期は、5月に緊急事態宣言が再度発令されたこともあり、当社の業績に与える影響が、依然として不透明な状況が続いております。</p> <p>今後の業績予想につきましては、わかり次第開示させていただきます。</p>
<p>Q2 今期の投資計画はどうなっているか？</p>	<p>A2 2020年10月期は大型オフセット印刷機1台を導入し、合計9台となりました。今期は、印刷機の導入予定はありません。</p> <p>生産設備の現状のキャパシティとしては、売上高ベースで年間95億円程度であると考えております。</p>
<p>Q3 今期の広告宣伝活動は？</p>	<p>A3 今期の広告宣伝費の月平均予算は、下期も前期と同水準の7百万円程度を予定しております。</p> <p>全体方針としては、従来通り、オンライン広告を中心として、CPAを維持したまま、ROASの向上を目論んでおります。</p>

本資料は、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

当社は、本資料に含まれる情報または意見の公平性、正確性、完全性または正当性について、明示的または黙示的に表明または保証をするものではありませんので、これらに依拠することのないようお願いします。本資料の使用または内容等に関して生じたいかなる損害についても当社は一切の責任を負いません。また、本資料の内容は事前の通知なく大幅に変更されることがあります。

本資料は、本資料の作成時点における業界、市場動向または経済情勢等に基づき作成されたものであり、その後発生する事象に基づき影響を受ける可能性があります。当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務を有していません。

本資料には、当社の現在の見通し、予想、目標、計画などを含む将来に関する見通しが含まれています。このような将来に関する見通しは、経営陣による将来の業績の保証を表すものではありません。これらの見通しは、将来の予想を議論し、戦略を特定し、経営成績または当社の財務状態の予測を含み、または当社の事業および業界、将来の事業戦略ならびに将来において当社が営業を行う環境に関する当社の現在における予想、想定、見積もりおよび予測に基づくその他の将来に関する情報を記載するものです。既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因により、当社の実際の業績は、将来に関する見通しに記載されまたは示唆されるものとは大幅に異なる可能性があります。当社は、これらの将来に関する見通しに記載される予想が正確なものであることを保証することはできません。実際の業績は予想とは大幅に異なる可能性があります。